

健康と温泉フォーラム

第2回 月例研究会開催のご案内

2009年1月16日(金) 14:00~16:30

日本型長期滞在リゾートの源流は江戸時代の湯治にある!!

“現在、日本の温泉地は3,000箇所を数えます”

温泉地の活性化を考えるには、温泉文化の源流を知ることが第一歩。

温泉入浴が盛んになったのは江戸時代からですが、その時代の温泉文化をご専門に研究されている内田彩氏により、江戸時代の湯治文化についてお話を伺い、その根源を深く探ることにより、日本の温泉の未来について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

<講演内容のポイント>

○「薬湯」「神湯」としての温泉

温泉は古代から各地に存在していました。

この時代の温泉は「薬湯」「神湯」と称されており、自然に湧き出す温泉に対して、人々の畏怖と畏敬の思いが込められていたのでしょう。

○花開く湯治文化

古代から親しまれた温泉入浴が盛んになったのは江戸時代。

多様な階層の人々が温泉地に盛んに訪れていました。病を治すことを願い温泉入浴をしながら、数週間を温泉地で過ごしていました。

温泉地はまさに「湯治場」でした。

○日本型リゾートとしての原型としての温泉地

江戸時代の人々は湯治を行いながら神社参詣や、滝見、花見、散策、また湯治場での多様な交流をもっていました。

湯治場は単なる療養だけではなく、療養、保養が可能な日本型長期滞在リゾートの原型であったと注目が集まっています。

■講師プロフィール

内田 彩 (ウチダ アヤ)

東京生まれ。明治大学文学部史学地理学科日本史専攻卒業。立教大学観光学研究科修士課程終了後、同後期課程に在学。

《日本型リゾートの原型といわれる江戸時代の温泉地を中心に、温泉の歴史や滞在生活を研究している》

財団法人アジア太平洋観光交流センター「第13回観光に関する研究論文」において、「江戸時代後期の湯治場における交流」が奨励賞を受賞。

日本観光研究学会温泉地域学会、日本温泉文化研究会会員。

【日 時】2009年1月16日(金) 14:00～16:30

(月例会開催は原則として毎月第三金曜日の14:00～16:30)

【会場】上野・東京文化会館 中会議室1

台東区上野公園5-45 TEL: 03-3828-2111

JR上野駅・公園口出てすぐ

<http://www.t-bunka.jp/access/index.html>

【テーマと講師】

『温泉文化の源～江戸時代の湯治文化』

立教大学観光学研究科

内田 彩 氏

【お申し込み・お問い合わせ】

下記の参加申込書にご記入の上、FAXにて送信してください。

担当: 長田和美 nagata@onsen-forum.jp

お電話でのお問い合わせは下記にお願いします。

TEL: 03-3320-8126 「NPO法人健康と温泉フォーラム」 内
渋谷区代々木4-59-3-1103

***** 会場ご案内 *****



***** 第3回月例会のご案内 *****

【日時】2009年2月13日(金)

14:00～16:30

※2月の例会は、会場の都合により

第二週の金曜日に開催します。

【会場】上野・東京文化会館 中会議室1

【テーマと講師】

「温泉連泊客のアンケート結果からみる分析と

温泉地活性化の方向」(仮称)

健康と温泉フォーラム 理事

別所温泉 上松屋旅館 社長 倉沢 章 氏

<http://www.uematsuya.com/>

参加申込書

第2回月例会(2009年1月16日開催)に出席いたします。

お名前			
ご住所	〒		
連絡先	TEL :	FAX :	
Eメール	@		

FAX送付先: 03-3320-0586 月例研究会実行委員会事務局(長田)